日本鋳造工学会講演大会の講演概要見本及び原稿の書き方

19mm

19mm

22mm

7mm

82.5mm

82.5mm

32mm

　鋳造大学（院）　●青銅秀樹　　鋳造大学　鋳物一郎，鋳造鉄子　　（株）鋳物工業　鋳物太郎

　　　　　JFES（株）　工学鋳代　　鋳造大学　軽合金夫

１．はじめに

　日本鋳造工学会の編集委員会で定めた講演大会の原稿フォーマットを示す．

　原稿はワープロソフト（Word）により，1講演につき原稿用紙1枚に記述する．題名，所属，氏名を原稿用紙の所定の位置に記入し，講演者氏名の前に○印（講演時，学生の場合●）を付ける．

　題名は内容を具体的に表現し，副題は設けない．｢～の研究，第○報｣ のような連続報告の形式にせず，｢～に関する研究｣，｢～について｣ 等の表現は省略する．題名，氏名は日本語で記入し，講演申込みと必ず一致させる．

２．原稿作成概要

　ホームページ(https://jfs.or.jp)内，大会サイトからテンプレートをダウンロードして作成する（A4縦置き，横書き，本文は2段組）．

３．原稿作成要領

3.1 タイトル

　左右中央に16ptで題名を書く．2行にわたる場合は14pt の文字を使用し，行間をつめる．タイトルに商品名等は用いない．

3.2 著者名

　所属，氏名は大きさ10 pt で，右づめで書く．人数が複数で同一所属の場合には氏名のみを列挙する．また，人数が多い場合には 2 行にする（この用紙の例を参考に）．講演者（質問回答代表者）の前に○印（学生講演者は●印）を付ける．

４．本文

4.1　本文の書き方

　本文は明朝体10 ptを用いる．書き出しは 6 行目とする（氏名欄が2行の場合は7行目から書き出す）．句読点は，全角のカンマ（，）ピリオド（．）を使用する．半角カタカナは用いない．

　目的，実験方法，実験結果，考察，結果等の見出しはゴシック体を使用し，「１．　２．…」のように記載する．小見出しは「1.1　1.2…」とし，本文と同書体とする．

アンダーラインは使用しない．

　本文は簡明な文章を用いて記述する．

　参考文献は3件以内とし，本文の最後に本文と同書体9ptでまとめて記載する．文献番号は片括弧（　1） ）を使用する．謝辞は省略する．

4.2　図表及び写真

　図・表及び写真は原稿に取り込む．図をWord上で編集すると位置ずれなどを起こしやすいので，文字や矢印等も含めて画像化（jpg，pngなど）して貼り付ける．掲載はモノクロなのでコントラストに注意する．

図・表に付記する文字は9 ptを使用する．キャプションは本文と同フォント，9ptで，図1 ○○…／表1 ○○…と番号を付けて日本語で記述し，行内の左右中央に配置する．図表の画像データとは別にテキストとして貼りつける．

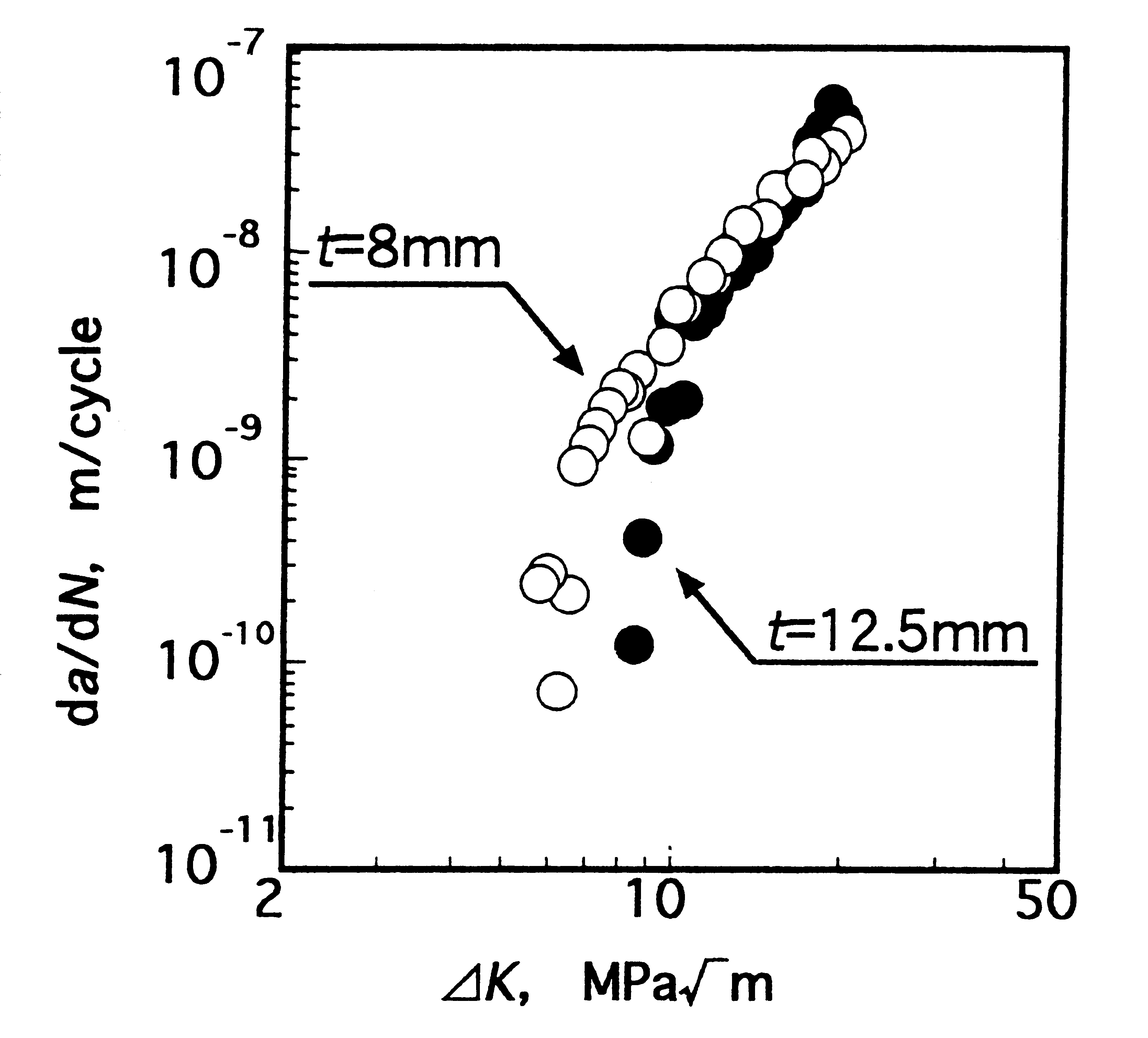


図1　ADIの亀裂進展特性

５．その他の注意事項

（1）原稿は，間違いのないよう著者において十分見直しをすること．上記の要領に合わない場合は，修正を求める場合がある．

（2）原稿中で使用する単位は SI 単位とし，その他一般的な事項は，本会の｢論文執筆要領｣（ホームページに掲載あり）に基づいて記述する．なお，講演概要の別刷りは受け付けない．

６．原稿送付先

Email：jfs-henshu@jfs.or.jp

受付はメールのみ．メールが使えない環境の場合は事務局に相談する．

ファイル名は ｢ 186–○○○ ｣ （○○○は受付番号）｣とする．

PDF ファイルでは送らない．文字化けやレイアウトのずれ等の心配がある場合は，Wordファイルと一緒に添付する．

　メールで送れないファイルサイズ（20MBを超えるなど）の場合は事務局に連絡する．